

知症に関する活動計画（概要）

兵庫県作業療法士会では、特設の認知症対策委員会を中心に関連する活動を展開している。ステップアップ形式で継続してきた認知症臨床作業療法士育成研修会は2023年度を最終年度として、2024年度に新たな形式の人材育成の事業へと変更することとした。一方関係の強化を図っている認知症の人と家族の会との共同企画や、会員の認知症関連の地域活動に対する実態調査などを行った。2024年度の委員会活動では、昨年度の事業の継続とその内容の充実を図りながら①作業療法士の人材育成の継続②一昨年度から再開している認知症の人と家族の会やその支援者と連携を図る事業の継続③「神戸市認知症地域支えあい推進事業」への支援④県士会会員の地域での認知症関連の活動の実態に関する調査の4項目を中心に進める予定である。人材育成事業に関しては、これまで継続してきた、ステップアップ形式の研修を見直し、ワークショップ形式での展開が開始される。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

兵庫県作業療法士会として、認知症の人と家族の会が主催する啓発活動/講演会のイベントを支援した。啓発活動では当委員会メンバーが（中には子供連れで!?) 参加し、街頭で啓発リーフレットを配布しながら、市民に認知症に対する理解を呼びかけた。



認知症の人とみんなが一緒に楽しむ「認知症ぶらぶらウォーキング」

2022年度から認知症の人と家族の会兵庫県支部と密にコミュニケーションを取り、協働で活動していく機会を増やしている。昨年企画したものの雨天で中止になった「みんなでぶらぶらウォーキング」を2023年度も継続して行った。イベントとしての活動ではあるが、企画会議を通じて認知症の人と家族の会との相互理解が進んでいると同時に、作業療法士（特に病院勤務の作業療法士）にとっては、認知症の方の活動や参加を臨床的に学ぶ貴重な経験の場となっているものとする。2024年度もイベントの実施を予定しており、企画段階から認知症の人と家族の会の方とより緊密な連絡を取りながらより良い活動と参加が実現できる場にしていきたいと考えている。



認知症臨床作業療法士育成研修会（ステップアップ研修）の終了と今後の展開

2017年より、地域で認知症の方やその支援者を支援する作業療法士の人材育成に向けた研修をステップアップ形式で行ってきた。ステップⅠ～Ⅲを受講することで、基本的な知識、臨床的な応用、地域での認知症支援が総合的に学べる機会となるよう企画し、2023年度までに全参加者は198人に達した。この期間には、covid-19の感染拡大の影響を受けたものの、研修を通じて県士会員に学びの機会を提供できたものと考えている。ステップアップ形式の研修は一旦その役割を終え、今後はより実践的な展開に発展させることを検討している。つまり、ここ数年の間に、上述にもあるように、認知症の人と家族の会との連携も深まりつつあり、学びから実践へとフェースを移しながら、ワークショップなどを取り入れた、より実践的な研修やイベントを展開していく予定である。